

政策	V	地域産業が躍動する活力あふれるまち	計画書
施策	1	活力ある農業の実現	124
主要施策	(30)	力強い農業経営の実現	ページ

部	産業振興部	課	農政課
---	-------	---	-----

将来あるべき姿

農業の担い手育成や農地の流動化・集約化が進み、農業経営基盤が整うことで、安定した地域農業が営まれています。

※指標(年度目標)達成状況と事務事業の成果、協働(市民・地域・事業者等の取組)の視点を踏まえた評価 / 評価対象年度までの取組に対する評価

協働の取組(市の取組) 計画内容		取組評価	成果(「●」の場合、その他ある場合)	改善事項等(取組評価「▲」「×」の場合、その他ある場合)	総合評価										
①	地域農業活性化ビジョンの推進と実現 地域農業活性化ビジョンの実現に向けて、農業者や市民、集荷業者、行政機関などと連携・協力し、農業施策を推進します。	●	ビジョン実現に向け、国、県等の事業を活用しながら、JA、普及センターなど、各関係機関等と連携し、農業施策を推進することができた。	施策の推進には、国、県、市の補助事業の有効な活用と、各関係機関と連携した農業者への支援を進めていく必要がある。新たな特産品の取組も始まり、ビジョンに掲げる重点施策を中心に、市がめざすべきビジョンの実現を図るため、更なる連携の強化と、将来を見据えた施策の推進に取り組む。	<table border="1"> <tr> <td>一次(内部)</td> <td>B</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>二次(外部)</td> <td>B</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> </table> <p>(A)順調(十分な成果あり) (B)若干の課題等があるが、概ね順調(一部成果あり) (C)取組(時期・内容)に改善が必要 【二次(外部)評価意見等】</p>	一次(内部)	B	H30	R1	R2	二次(外部)	B	H30	R1	R2
一次(内部)	B	H30	R1	R2											
二次(外部)	B	H30	R1	R2											
②	農業の担い手育成 人・農地プランの策定を推進することにより、地域ごとの担い手を明確にし、担い手の育成を進めます。また、就農支援制度の充実により若い就農者の増加を図ります。	▲	新たに2地区で人・農地プランを作成することができ、担い手の明確化及び担い手の育成を進めることができた。	地域ごとの状況に応じて相談があるため、地域と十分に調整を図りながら人・農地プランを作成し、地域内で中心となる担い手を明確にして、地域での担い手確保・育成を目指す。新たな就農者については、青年等就業計画の作成を通して、就農者が関係機関と連携して活用できる支援制度を紹介し、就農を支援する。											
③	農地の流動化と集約化等の推進 農地中間管理機構の活用や農業委員会などとの連携により、農業用施設の管理体制の構築を支援するとともに、耕作放棄地を含めた農地の利用権設定の拡大を推進し、人・農地プランで明確にした担い手となる経営体への農地の集約化を進めます。	▲	農地中間管理機構を活用した農地の借受が約5ha増加し、担い手への農地集積を進めることができた。	人・農地プランの作成を通じて、地域の担い手を明確にし、担い手への農地の集積・集約化を図る。その際、農地中間管理機構の活用や農業委員との連携を一層進める。											
④	農業経営基盤の強化 認定農業者や集落営農組織の法人化を推進するとともに、機械設備の整備に対して補助・融資制度の活用を推進するなど、担い手となる経営体の経営基盤の強化を図ります。さらに、地区の営農状況に即した多様な形態の経営体を育成します。	▲	認定農業者の機械整備等に対して国等の補助を活用し、担い手の経営基盤の強化に繋げた。また、市内2農業者が農業経営サポート事業を活用して経営改善に取り組んだ。	担い手に対し、関係機関と連携して、法人化に向けた各種制度の情報提供や制度の活用を支援し、法人化を推進する。また、有機農業の支援や幅広く使える農業機械購入補助事業などにより多様な形態の経営体を育成する。											
⑤															

【取組評価】●：順調に取り組めた ▲：取組に一部遅れあり ×：取組に大幅な遅れあり -：評価対象年度後に取り組む予定(※まちづくり指標の年度目標と整合を図ること。)

まちづくり指標						年度目標達成状況											
協働の取組番号	指標名	単位	方向性	累計・単年度	実績値 2011 (H23)	基準値 2016 (H28)	上段:目標値					下段:実績値					
							2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	
②	認定農業者数	者	↑	単年度	29	30	32	34	36	38	40	93.8%	82.4%				
							30	28				★★	★★				
②	集落営農組織数	組織	↑	単年度	27	28	30	31	32	33	34	96.7%	93.5%				
							29	29				★★	★★				
②	認定新規就農者数	者	↑	累計	-	2	5	6	7	8	9	40.0%	50.0%				
							2	3				☆	☆				
③	農地の流動化率	%	↑	単年度	17.2	21.8	26.8	31.6	36.4	41.2	46.0	89.5%	76.6%				
							24.0	24.2				★★	★				
④	法人の経営体数	経営体	↑	単年度	6	9	10	11	12	13	14	90.0%	81.8%				
							9	9				★★	★★				

【年度目標達成状況】★★★：達成、★★：達成率80%以上、★：達成率60%以上、☆：達成率60%未満、-：測定不能

行財政改革関連事業の取組状況				
通番	事務事業名	成果	取組による成果(効果)・成果なしの理由	財政効果額(千円)

※「取組による成果(効果)・成果なしの理由」欄は、「成果」欄が「○」「△」の場合は財政負担の軽減・平準化、市民サービス・行政効率の向上などの観点における取組成果(効果)を、「×」の場合は成果なしの理由を記載する。
※記載内容については、裏面(行革関連事業)の内容と十分に整合をとること。

事務事業の見直し(スクラップ・アンド・ビルド/リセット)状況			
通番	事務事業名	成果	廃止、休止、縮小、統合等の内容

※記載内容については、裏面(事務事業)の内容と十分に整合をとること。

政策	V	地域産業が躍動する活力あふれるまち	計画書
施策	1	活力ある農業の実現	126
主要施策	(31)	農産物のブランド力向上と生産拡大	ページ

部	産業振興部	課	農政課
---	-------	---	-----

将来あるべき姿

加東市産山田錦をはじめとする農産物のブランド力向上や地産地消を推進することで、需要が拡大し、米を中心とした地域農業がますます活発になっています。

協働の取組(市の取組) 計画内容	取組評価	成果(「●」の場合、その他ある場合)	改善事項等(取組評価「▲」「×」の場合、その他ある場合)	総合評価										
① 加東市産山田錦のブランド力の向上 蔵元などに、突出した高品質をPRすることや産地表示を推進することで、ブランド力の向上を図ります。	● H30 R1 R2	タレントを起用した乾杯まつりPR動画の作成、産地表示された酒の銘柄数の増加、山田錦の特等以上の等級割合の増加などにより加東市産山田錦のブランド力を向上させた。		<table border="1"> <tr> <td>一次(内部)</td> <td>B</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>二次(外部)</td> <td>A</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> </table> <p>【A】順調(十分な成果あり) 【B】若干の課題等があるが、概ね順調(一部成果あり) 【C】取組(時期・内容)に改善が必要</p> <p>【二次(外部)評価意見等】 【R1】まちづくり指標の1つが目標に達していないためB評価の説明があったが、達成率が94%というのは、それほど悪い数字なのか。A評価でもよいのではないが。</p>	一次(内部)	B	H30	R1	R2	二次(外部)	A	H30	R1	R2
一次(内部)	B	H30	R1		R2									
二次(外部)	A	H30	R1		R2									
② 効率的な作付体系の確立と酒造好適米の生産拡大 適地適作を基本に、水田を最大限に活用することにより、地域の生産環境に適した収益性の高い農産物の効率的な作付体系を確立します。また、市内産酒造好適米のブランド力向上などにより、「村米」制度による蔵元との契約栽培に取り組む地区数を増やし、酒造好適米の生産拡大を図ります。	● H30 R1 R2	酒造好適米の作付け面積が増え、ブランド力の向上につなげることができた。												
③ 農産物のブランド化と生産拡大 営農部会が行っている園芸作物の生産に新たな就農者を誘導し、部会の活性化を図るとともに、ブランド認証を取得するための品質向上の取組を支援し、魅力ある園芸作物の生産拡大を推進します。あわせて、市内産農産物の加工食品開発に取り組みます。	● H30 R1 R2	補助金交付により営農部会の活動を支援し、部会の活性化に繋がった。また、新たにもち麦の活用に向けて関係機関と協議を進め、市内産もち麦のブランド化を推進することができた。	営農部会への新たな就農者の加入を推進する。											
④ 地産地消の推進 直売所や農業改良普及センターなどと連携した栽培指導の強化により、農産物の品質向上や標準化を図るとともに、多品目の計画的作付けによる端境期対策を推進します。あわせて、市内の一般企業を対象に市内産農産物の需要量調査を行い、みのり農業協同組合などと連携し、販路開拓を推進します。また、学校給食や食育の推進などの取組と連携しながら、市内産農産物の消費を拡大します。	● H30 R1 R2	関係機関と連携し、市内農業者に対して栽培技術研修会等を実施し、市内農産物や特産品の品質向上を推進することができた。また、学校給食センターへ納入する農業者に、国の産地交付金で支援し、市内農産物の地産地消を推進することができた。	市内事業所及び関係機関と連携し、加東市産もち麦の生産面積を拡大することができた。また、もち麦を活用した新たな加工品が市内食品事業者等により開発され、市内店舗で販売され始めた。											

【取組評価】●:順調に取り組めた ▲:取組に一部遅れあり ×:取組に大幅な遅れあり -:評価対象年度後に取り組む予定(※まちづくり指標の年度目標と整合を図ること。)

まちづくり指標						年度目標達成状況											
協働の取組番号	指標名	単位	方向性	累計・単年度	実績値 2011 (H23)	基準値 2016 (H28)	上段:目標値					下段:実績値					
							2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	
①	産地表示された酒の銘柄数	銘柄	↑	単年度	-	26	29	33	36	40	43	117.2%	115.2%				
①	加東市産山田錦の特等以上の等級割合	%	↑	単年度	-	74.9	76.5	78.0	79.5	81.0	82.5	117.4%	109.0%				
②	酒造好適米の作付面積	ha	↑	単年度	-	1,248	1,253	1,258	1,263	1,268	1,273	99.6%	100.2%				
②	「村米」制度取組地区数	地区	↑	単年度	-	18	18	18	19	19	19	100.0%	100.0%				
③	ブランド認証品目数	品目	↑	単年度	-	19	20	22	24	26	28	95.0%	100.0%				
④	市内産農産物の直売所販売額	千円	↑	単年度	-	223,344	245,317	257,135	269,547	282,582	296,274	94.1%	93.6%				
④	学校給食の市内産農産物使用割合	%	↑	単年度	8.3	14.7	15.6	16.2	16.8	17.4	18.0	104.5%	141.4%				

【年度目標達成状況】★★★:達成、★★:達成率80%以上、★:達成率60%以上、☆:達成率60%未満、-:測定不能

行政改革関連事業の取組状況				
通番	事務事業名	成果	取組による成果(効果)・成果なしの理由	財政効果額(千円)

※「取組による成果(効果)・成果なしの理由」欄は、「成果」欄が「○」「△」の場合は財政負担の軽減・平準化、市民サービス・行政効率の向上などの観点における取組成果(効果)を、「×」の場合は成果なしの理由を記載する。
※記載内容については、裏面(行革関連事業)の内容と十分に整合をとること。

事務事業の見直し(スラップ・アンド・ビルド/リセット)状況			
通番	事務事業名	成果	廃止、休止、縮小、統合等の内容

※記載内容については、裏面(事務事業)の内容と十分に整合をとること。

政策	V	地域産業が躍動する活力あふれるまち	計画書
施策	1	活力ある農業の実現	128
主要施策	(32)	農村環境の整備等の推進	ページ

部	産業振興部	課	農地整備課
---	-------	---	-------

将来あるべき姿

農業の生産基盤と農村の生活環境を一体的に整備することで、持続可能で安全・安心な農村環境が整っています。また、森林が良好に保全され、水源のかん養など、市民生活に関わるさまざまな機能が維持されています。

協働の取組(市の取組)	計画内容	取組評価			成果(「●」の場合、その他ある場合)	改善事項等(取組評価「▲」「×」の場合、その他ある場合)	総合評価												
		H30	R1	R2			一次(内部)	B	H30	R1	R2								
①	農村環境の整備 ため池や用排水路などの計画的かつ効率的な改修により、防災・減災対策を実施することで、農業生産基盤を維持するとともに、災害に強い農村づくりを進めます。また、地域ぐるみで行うため池や用排水路などの農業用施設の管理活動を支援することで、地域資源の保全管理を推進します。	●			ため池の定期点検を行うとともに、各地区で取り組む農地及び農業用施設の維持、管理及び更新等の活動に対して補助を行うことで、農村環境の保全管理を推進した。														
②	農地基盤の整備 担い手への農地の集約化の取組とあわせて、地域の実情に即した農地・農業利水施設を整備し、農業用施設の機能を向上させるとともに、ほ場整備を推進することにより、農業の効率化と生産性の向上を図ります。	▲																	
③	森林の保全 違法伐採などの監視を行うとともに、森林法や条例に基づき、森林の保全に取り組みます。あわせて、県と連携し、自然体験活動などを通して、保全管理の大切さを啓発することにより、森林のもつ水資源の貯留や自然災害の防止、環境の保全など、市民生活に関わるさまざまな機能の維持に努めます。	●				森林管理巡視員によるパトロールにより、違法伐採等の監視を行うことで、森林の保全管理を推進した。													
④																			
⑤																			

【取組評価】●:順調に取り組めた ▲:取組に一部遅れあり ×:取組に大幅な遅れあり -:評価対象年度後に取り組む予定(※まちづくり指標の年度目標と整合を図ること。)

まちづくり指標				年度目標達成状況																				
協働の取組番号	指標名	単位	方向性	累計・単年度	実績値 2011 (H23)	基準値 2016 (H28)	上段:目標値					下段:実績値					上段:達成率		下段:年度目標達成状況					
							2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)			
①	ため池改修整備率	%	↑	累計	0.0	14.9	23.4	27.7	31.9	36.2	40.4	172.7%	175.3%											
①	農業用施設維持管理組織数	組織	↑	単年度	62	75	75	76	76	77	100.0%	100.0%												
②	ほ場整備箇所数	箇所	↑	累計	-	-	0	0	0	0	1	-	-											
③	森林パトロール回数	回	↑	単年度	96	96	96	98	100	102	104	100.0%	100.0%											

【年度目標達成状況】★★★:達成、★★:達成率80%以上、★:達成率60%以上、☆:達成率60%未満、-:測定不能

行財政改革関連事業の取組状況				
通番	事務事業名	成果	取組による成果(効果)・成果なしの理由	財政効果額(千円)

※「取組による成果(効果)・成果なしの理由」欄は、「成果」欄が「○」「△」の場合は財政負担の軽減・平準化、市民サービス・行政効率の向上などの観点における取組成果(効果)を、「×」の場合は成果なしの理由を記載する。
※記載内容については、裏面(行革関連事業)の内容と十分に整合をとること。

事務事業の見直し(スクラップ・アンド・ビルド/リセット)状況			
通番	事務事業名	成果	廃止、休止、縮小、統合等の内容

※記載内容については、裏面(事務事業)の内容と十分に整合をとること。

■主要施策を構成する主な事務事業（新規・廃止等事業を含む。）

通番	協働の取組番号	事務事業名	重点 行革	実施 年限	上段：事務事業内容〔2018(H30)～2022(R4)〕 下段：2018(H30)～2019(R1)年度の取組内容・成果	R1事中評価				R1事後評価				上段：予算〔計画〕、中上段：決算〔千円〕、中下段：執行率、下段：実施有無					改善事項等 ※事中・事後評価で方向性「継続」、予算「維持」「－」以外とした場合、その他ある場合		
						進捗	成果	2020(R2)反映		進捗	成果	主に2021(R3)反映		2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		合計	
								方向性	予算			方向性	予算								
1	①	市単独事業			各地区が実施する農業施設の改修工事等の土地改良事業に対する補助 農業用施設の改修が必要な5つの地域の改修工事に対し補助金を交付することで、農業経営の安定を推進した。	○	○	継続	維持	○	○	継続	維持	1,990	3,000	5,000	5,000	5,000	19,990		
														1,988	2,694						4,682
														99.9%	89.8%	0.0%	0.0%	0.0%			23.4%
2	①	国県団体営負担金拋出事業			国営、県営、団体営土地改良事業の負担金及び元利補給金の交付 県営事業により、農業経営の安定や環境保全、防災力の向上を図るため、工事及び実施設計を実施した。	○	○	継続	維持	○	○	継続	維持	13,130	14,697	12,000	15,000	15,000	69,827		
														13,129	14,696						27,825
														100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			39.8%
3	①	県営ため池等整備事業			県が事業主体となる受益面積5ha以上の老朽ため池の防災・減災対策工事に対する負担金 県営事業により、農業経営の安定や環境保全、防災力の向上を図るため、工事及び実施設計を実施した。	○	○	継続	維持	○	○	継続	維持	21,978	28,461	21,647	22,000	22,000	116,086		
														21,977	28,012						49,989
														100.0%	98.4%	0.0%	0.0%	0.0%			43.1%
4	①	団体営ため池等整備事業			決壊時において人的・物的被害が想定される特定ため池の定期点検による健全度評価、老朽ため池の防災・減災対策工事、ため池ハザードマップの作成 農業経営の安定や環境保全、防災力の向上を図るため、定期点検を実施した。	×	○	継続	減額	○	○	継続	維持	11,000	67,700	83,000	30,000	30,000	221,700		
														10,157	20,061						30,218
														92.3%	29.6%	0.0%	0.0%	0.0%			13.6%
5	①	ため池簡易部分補修実証事業			ため池定期点検の結果による不具合のあるため池の簡易部分補修工事 ため池への進入路の修繕や舗装を行い、維持管理の負担を軽減した。	－	○	完了予定	廃止	○	○	完了	廃止	2,200	1,300	2,200	2,200		7,900		
														2,000	1,001						3,001
														90.9%	77.0%	0.0%	0.0%	－			38.0%
6	①	土地改良施設維持管理適正化事業			土地改良事業により造成された施設の整備補修に対する費用支援 －											5,140	6,000	3,600	14,740		
																					0
																0.0%	0.0%	0.0%			0.0%
7	①	多面的機能支払交付金事業			農地及び農業用施設の維持管理及び更新等の活動に対する補助 H30は75組織、R1は76組織に補助を行い、各地区の取組により、営農意識が向上し、営農環境が改善した。	○	○	継続	維持	○	○	継続	維持	214,787	217,324	227,819	228,000	228,000	1,115,930		
														214,740	217,300						432,040
														100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			38.7%
8	①	中山間地域等直接支払事業			中山間地域等の農業生産条件の不利益を補正するための適正な農用地の維持管理を行う活動に対する支援及び指導 農業生産環境が不利な中山間地域と集落協定を締結し、交付金を支給することで、離農や耕作放棄を防止した。	○	○	継続	増額	○	○	継続	維持	13,626	13,619	16,987	17,000	17,000	78,232		
														13,620	13,618						27,238
														100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			34.8%
9	②	県営かんがい排水事業			老朽化が著しい用排水路の県営事業による改修に対する負担金 県営事業により老朽化した水路の機能を回復した。	○	○	継続	維持	○	○	継続	維持	7,086	7,680	14,130	10,000	10,000	48,896		
														1,399	7,666						9,065
														19.7%	99.8%	0.0%	0.0%	0.0%			18.5%
10	②	農業水利施設保全合理化事業			農業の競争力強化のための水利利用の効率化、水管理の省力化及び水利施設の長寿命化の推進 事業採択に向け、設計方針の確立と集団化に向けた勉強会を開催した。	－	△	継続	維持	×	△	継続	－	15,000	1,727				16,727		
														14,408	0						14,408
														96.1%	0.0%	－	－	－			86.1%
11	②	地域農業水利施設ストックマネジメント事業			老朽化した農業水利施設の目地詰め等による改修 老朽度合いに応じたきめ細かい農業水利施設の改修と実施設計を行った。	×	○	継続	維持	○	○	継続	－	13,830	20,000			10,000	43,830		
														11,695	17,600						29,295
														84.6%	88.0%	－	－	0.0%			66.8%
12	②	基盤整備促進事業			農家の作業負担軽減等のための既存水路のバイブライン化 農業生産効率の向上を図るため、バイブライン敷設工事を行った。									49,200					49,200		
														43,764							43,764
														89.0%	－	－	－	－			89.0%

R1からR2の予算は、取組対象組織数の増による増額

地元協議により整備の方向性を変更したことに伴い、別事業での実施を検討する。

令和元年度 第2次総合計画 前期基本計画 施策評価シート

13	②	水利施設等保全高度化事業	水利用の効率化や水管理の省力化を図るための施設整備									30,000	10,000	10,000	50,000			
			—									—	—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
14	③	林業一般事業	森林資源の利活用などの取組支援、森林パトロールの実施、鴨川ひびきの森附帯施設の撤去、林地台帳の整備	○	○	継続	減額	○	○	拡充	増額	2,457	2,466	4,600	4,600	6,000	20,123	
			—									2,450	2,459					4,909
			森林の環境保全を図るため、森林管理巡視員によるパトロールを実施した。また、ひびきの森附帯施設の撤去工事を行った。										99.7%	99.7%	0.0%	0.0%	0.0%	24.4%
			—									○	○	○	○	○		
予算(計画) 事業費 合計											366,284	377,974	417,383	343,800	353,000	1,858,441		
決算 事業費 合計											351,327	325,107	0	0	0	676,434		
執行率											95.9%	86.0%	0.0%	0.0%	0.0%	36.4%		

政策	V	地域産業が躍動する活力あふれるまち	計画書
施策	1	活力ある農業の実現	130
主要施策	(33)	鳥獣被害対策の推進	ページ

部	産業振興部	課	農地整備課
---	-------	---	-------

将来あるべき姿

地域住民の協力による効果的な防護対策により、鳥獣被害が減少し、農業者の生産意欲が回復することで、地域農業の生産性の安定と向上につながっています。

※指標(年度目標)達成状況と事務事業の成果、協働(市長・地域・事業者等の取組)の視点を踏まえた評価 / 評価対象年度までの取組に対する評価

協働の取組(市の取組) 計画内容		取組評価	成果(「●」の場合、その他ある場合)	改善事項等(取組評価「▲」「×」の場合、その他ある場合)	総合評価	
①	有害鳥獣侵入防護対策の推進 有害鳥獣の生息区域を踏まえ、隣接市とも連携しながら、地域における効率的な防護柵設置を支援するとともに、ドローンやICTを活用した防護対策について研究します。また、農業者などを対象とした鳥獣被害対策セミナーを開催し、有害鳥獣の生態についての理解を深めることにより、被害の未然防止を図ります。	●	・農作物被害が深刻な地域が取り組む集落柵整備に対し、材料支給を行うことで、有害鳥獣の侵入を抑制した。 ・ICTを活用した長距離無線式捕獲パトロールシステムを導入し、柵の状態監視における負担を軽減した。		一次(内部)	B H30 R1 R2 B
②	有害鳥獣捕獲対策の推進 猟友会の負担軽減のための地域と連携した捕獲活動の推進や、猟友会の後継者育成に向けた取組を進めることにより、有害鳥獣の捕獲体制の充実を図り、被害の減少に努めます。	▲	有害鳥獣協議会において猟友会と協議し、資機材の購入を行うことで、有害鳥獣の捕獲体制を充実させた。	イノシシの捕獲に対し、餌つけや個体の処分について地区の支援を得ることによって、猟友会の負担軽減を図る方向性であったが、現在猟友会は餌つけや個体の処分について負担と考えていないことから、従来どおり、猟友会による加害個体の集中捕獲を推進していく。	二次(外部)	B H30 R1 R2
③						
④						
⑤						

【A】順調(十分な成果あり)
【B】若干の課題等があるが、概ね順調(一部成果あり)
【C】取組(時期・内容)に改善が必要
【二次(外部)評価意見等】

【取組評価】●:順調に取り組めた ▲:取組に一部遅れあり ×:取組に大幅な遅れあり -:評価対象年度後に取り組む予定(※まちづくり指標の年度目標と整合を図ること。)

まちづくり指標						年度目標達成状況													
協働の取組番号	指標名	単位	方向性	累計・単年度	実績値 2011 (H23)	基準値 2016 (H28)	上段:目標値					下段:実績値				上段:達成率		下段:年度目標達成状況	
							2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)
①	有害鳥獣侵入防護柵設置延長	m	↑	累計	12,318	39,624	66,000	72,000	78,000	84,000	90,000	139.6%	143.9%						
							92,156	103,617				★★★	★★★						
①	鳥獣被害対策セミナー受講者数	人	↑	累計	-	130	230	230	330	330	430	117.4%	151.7%						
							270	349				★★★	★★★						
①②	鳥獣被害額	千円	↓	単年度	-	3,191	2,900	2,700	2,500	2,300	2,100	84.6%	92.9%						
							3,429	2,905				★★	★★						
①②	鳥獣被害報告件数	件	↓	単年度	-	411	370	340	310	280	260	102.5%	99.7%						
							361	341				★★★	★★						
②	有害鳥獣捕獲活動支援取組地区数	地区	↑	累計	0	0	1	2	3	4	5	0.0%	0.0%						
							0	0				☆	☆						

【年度目標達成状況】★★★:達成、★★:達成率80%以上、★:達成率60%以上、☆:達成率60%未満、-:測定不能

行財政改革関連事業の取組状況				
通番	事務事業名	成果	取組による成果(効果)・成果なしの理由	財政効果額(千円)

※「取組による成果(効果)・成果なしの理由」欄は、「成果」欄が「○」「△」の場合は財政負担の軽減・平準化、市民サービス・行政効率の向上などの観点における取組成果(効果)を、「×」の場合は成果なしの理由を記載する。
※記載内容については、裏面(行革関連事業)の内容と十分に整合をとること。

事務事業の見直し(スクラップ・アンド・ビルド/リセット)状況			
通番	事務事業名	成果	廃止、休止、縮小、統合等の内容

※記載内容については、裏面(事務事業)の内容と十分に整合をとること。

■主要施策を構成する主な事務事業(新規・廃止等事業を含む。)

通番	協働の取組番号	事務事業名	重点 行革	実施 年限	上段:事務事業内容[2018(H30)~2022(R4)] 下段:2018(H30)~2019(R1)年度の取組内容・成果	R1事中評価				R1事後評価				上段:予算(計画)、中上段:決算[千円]、中下段:執行率、下段:実施有無					改善事項等 ※事中・事後評価で方向性「継続」、予算「維持」「」以外とした場合、その他ある場合						
						進捗	成果	2020(R2)反映		進捗	成果	主に2021(R3)反映		2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)		合計					
								方向性	予算			方向性	予算												
1	①	鳥獣被害防止総合対策事業			地域に対する獣害防止施設(金網柵)の支給 農作物被害が深刻な地域が取り組む集落柵整備に対し、材料支給を行うことで、有害鳥獣の侵入を抑制した。	○	○	継続	維持	○	○	継続	維持	1,380	4,319	1,800	3,700	3,700	14,899	H30からR1の予算は、取組地区数の増による増額					
																			1,379		4,319				5,698
																			99.9%		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	38.2%
2	①	中山間地域所得向上支援事業			中山間地域に対する獣害防止施設(金網柵)の支給 中山間地域における、有害鳥獣による被害軽減のため、地域で取り組む集落柵整備に対し材料支給を行うことで、有害鳥獣の侵入を抑制し、被害を軽減した。	○	○	継続	維持	○	○	継続	維持	7,284	9,541	8,500	14,900	14,900	55,125	H30からR1の予算は、取組地区数の増による増額					
																			7,283		9,540				16,823
																			100.0%		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.5%
3	①②	有害鳥獣対策事務			有害鳥獣及び特定外来生物の捕獲、地域で設置する防護柵等の資材購入に対する補助、鳥獣被害対策セミナーの開催、猟友会の活動支援、ICTなどを活用した防護対策の調査・研究、バッファゾーンの整備、民間専門業者による助言・指導 地域で取り組む集落柵整備に対する補助と、加害個体を集中捕獲する取組により、農作物への被害を軽減した。また、ICTを活用した長距離無線式捕獲パトロールシステムを導入し、猟友会の畜の状態監視における負担を軽減した。	○	○	拡充	増額	○	○	継続	維持	5,316	4,771	15,482	15,500	15,500	56,569	R1からR2の予算は、バッファゾーンの整備や民間事業者による助言・指導の事業を追加することによる増額					
																			5,032		4,383				9,415
																			94.7%		91.9%	0.0%	0.0%	0.0%	16.6%
4																								0	
																								0	
																								0	
5																								0	
																								0	
																								0	
6																								0	
																								0	
																								0	
7																								0	
																								0	
																								0	
8																								0	
																								0	
																								0	
9																								0	
																								0	
																								0	
10																								0	
																								0	
																								0	
予算(計画) 事業費 合計													13,980	18,631	25,782	34,100	34,100	126,593							
決算 事業費 合計													13,694	18,242	0	0	0	31,936							
執行率													98.0%	97.9%	0.0%	0.0%	0.0%	25.2%							

政策	V	地域産業が躍動する活力あふれるまち	計画書
施策	2	商工業・観光産業の活性化と雇用対策の充実	132
主要施策	(34)	商工業の振興	ページ

部	産業振興部	課	商工観光課
---	-------	---	-------

将来あるべき姿
 商工業振興基本条例の基本理念に基づき、事業者自らの自助努力や創意工夫とともに、市や商工団体、事業者が連携・協力し、市民の理解を得ながら商工業の振興を図ることにより、企業間連携による地域経済の好循環や後継者・創業者の育成が促進され、商工業が活性化しています。

協働の取組(市の取組) 計画内容	取組評価	成果(「○」の場合、その他ある場合)	改善事項等(取組評価「▲」「×」の場合、その他ある場合)	総合評価
① 経営基盤の安定化と事業承継支援 市や事業者、商工団体、金融機関で構成する商工業振興協議会を設置し、販路開拓や人材育成、技術の継承などの支援施策を展開することで、事業者の経営基盤の安定化と事業承継の円滑化を図ります。また、金融機関などからの市場動向分析結果や各種情報提供機関からの最新情報を速やかに市内事業者へ提供できる仕組みづくりを検討します。	▲	平成30年5月に商工業振興協議会を立ち上げ、市内商工団体等の抱える課題を踏まえた地域商工業の活性化を図るための施策について協議を進めることができました。	市場動向の分析や情報を事業者に速やかに届けるため、SNSを活用したネットワーク形成に取り組む。	一次(内部) B H30 R1 R2 B
② 創業支援の充実 商工会や金融機関、大学と連携し、創業希望者の掘り起こしに努めるとともに、専門家の派遣や販路開拓などについて支援することで、創業後の安定期へのスムーズな移行を促進します。あわせて、創業希望者と空店舗や空地とのマッチングや助成制度等の周知などにより、安心して創業し、継続できる仕組みを構築します。	●	商工会との連携により創業セミナーを開催するなど、創業を支援することで、25件の創業につなげることができた。商店街の空き家を活用したワーキングスペース開設の動きもあり、創業しやすい環境が整備されつつある。		二次(外部) B H30 R1 R2 B
③ 企業誘致と操業継続支援等の充実 工場などを新増設した事業者に対して固定資産税等相当額を交付する奨励金制度を継続運用しながら、公共用地等の既存ストックを有効に活用した企業誘致などを推進するとともに、地域の特性を活かせる成長性の高い産業分野の見定めなど、新たな工業団地用地の創出実現に向けて取り組みます。また、操業中の事業者に対する水道料金の一部助成を継続実施するとともに、企業間におけるビジネス連携や異業種交流を支援することにより、産業の高度化や新産業の創出を推進します。	●	奨励金の交付や水道料金の一部助成などにより、操業継続や事業拡張を支援することができた。1社が操業を開始した。		【A】順調(十分な成果あり) 【B】若干の課題等があるが、概ね順調(一部成果あり) 【C】取組(時期・内容)に改善が必要 【二次(外部)評価意見等】
④	●			

【取組評価】●：順調に取り組めた ▲：取組に一部遅れあり ×：取組に大幅な遅れあり ー：評価対象年度後に取り組む予定(※まちづくり指標の年度目標と整合を図ること。)

まちづくり指標						年度目標達成状況													
協働の取組番号	指標名	単位	方向性	累計・単年度	実績値 2011 (H23)	基準値 2016 (H28)	上段:目標値					下段:実績値				上段:達成率		下段:年度目標達成状況	
							2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)
①	経営革新計画承認支援件数	件	↑	累計	-	52	58	64	70	76	82	103.4%	95.3%						
							60	61				★★★	★★						
②	創業者件数	件	↑	累計	-	-	15	30	45	60	75	93.3%	83.3%						
							14	25				★★	★★						
②	創業者の継続操業件数	件	↑	単年度	-	-	-	14	26	36	46	-	100.0%						
							-	14				-	★★★						
③	企業誘致件数	件	↑	累計	-	-	0	0	0	1	2	-	-						
							0	0				-	-						
③	異業種交流会開催支援件数	件	↑	累計	-	-	0	1	2	4	6	100.0%	200.0%						
							1	2				★★★	★★★						

【年度目標達成状況】★★★：達成、★★：達成率80%以上、★：達成率60%以上、☆：達成率60%未満、-：測定不能

行政改革関連事業の取組状況					財政効果額(千円)
通番	事務事業名	成果	取組による成果(効果)・成果なしの理由		
10	企業誘致等推進事業	○	立地に向けた支援を行い、1社が操業を開始した。		5,300

※「取組による成果(効果)・成果なしの理由」欄は、「成果」欄が「○」「△」の場合は財政負担の軽減・平準化、市民サービス・行政効率の向上などの観点における取組成果(効果)を、「×」の場合は成果なしの理由を記載する。
 ※記載内容については、裏面(行革関連事業)の内容と十分に整合をとること。

事務事業の見直し(スクラップ・アンド・ビルド/リセット)状況			
通番	事務事業名	成果	廃止、休止、縮小、統合等の内容

※記載内容については、裏面(事務事業)の内容と十分に整合をとること。

■主要施策を構成する主な事務事業(新規・廃止等事業を含む。)

通番	協働の取組番号	事務事業名	重点 行 年 限	実施 年 限	上段:事務事業内容[2018(H30)~2022(R4)] 下段:2018(H30)~2019(R1)年度の取組内容・成果	R1事中評価				R1事後評価				上段:予算(計画)、中上段:決算[千円]、中下段:執行率、下段:実施有無					改善事項等 ※事中・事後評価で方向性「継続」、予算「維持」「-」以外とした場合、その他ある場合		
						進 捗	成 果	2020(R2)反映		進 捗	成 果	主に2021(R3)反映		2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		合計	
								方向性	予算			方向性	予算								
1	①	商工業振興協議会運営事業	○		市や事業者、商工団体、金融機関で構成する商工業振興協議会における販路開拓や人材育成、技術の継承等の事業者支援施策の協議 平成30年5月に協議会を立ち上げ、市内商工団体等の抱える課題を共有するとともに、地域商工業の活性化を図るための施策として合同企業説明会の開催を決定した。	×	○	継続	維持	×	△	継続	維持	6	75	6	6	93	R2予算はセミナー開催費用の計上による増額		
2	①	産業高度化・新産業創出事業			異業種間交流会の開催支援、ビジネス連携支援 商工会が開催する異業種間交流会の開催を支援した。同交流会の開催により、参加者の交流が図られ、ビジネス連携に向けた人的交流が深められた。	○	○	継続	維持	○	○	継続	維持	267	300	300	300	300	1,467		
3	①	加東市秋のフェスティバル			秋のフェスティバル実行委員会への補助 補助金を交付し、イベントを開催することにより、地場産品や文化の魅力を広くPRできた。	○	○	継続	維持	○	○	継続	維持	9,000	9,600	9,600	9,600	9,600	47,400		
4	①	プレミアム付商品券事業			低所得者及び子育て世帯の消費減退を緩和しつつ、地域消費を喚起するためのプレミアム付商品券の販売 事業実施に向けて、市商工会等と販売・換金業務などについて協議し、実施体制を整えた。 商品券購入引換券を3,489人に交付し、13,314冊の商品券を販売した。	○	○	完了予定	廃止	○	○	完了	廃止	2,738	32,565				35,303		
5	①	商工総務事業			商工会への運営補助、県の新型コロナウイルス対策貸付制度を利用する市内中小企業者に対する信用保証料の補助 加東市商工会に補助金を交付することにより、事業者支援のための各種施策を推進した。新型コロナウイルス対策貸付制度を利用する市内中小企業者に対する信用保証料補助制度を創設した。	○	○	継続	維持	○	○	継続	維持	27,633	26,380	43,680	23,680	23,680	145,053		
6	①	マイナポイント事業			商工会との連携によるマイナポイントを活用した消費活性化策の周知及び統一QR「JPQR」の導入支援 -																
7	②	創業支援事業	○		商工会や金融機関、大学との連携による創業希望者の掘り起し、空店舗等とのマッチング、創業直後の事業者への販路開拓等に対する補助 創業直後の事業者(1者)に補助金を交付することにより、創業者の事業展開に寄与した。	○	○	継続	減額	○	△	継続	維持	250	0	2,500	2,500	2,500	7,750		
8	③	企業立地促進事業(立地企業奨励)	○		市内に工場等を新増設した事業者に対する奨励金(固定資産税等相当額)の交付 事業者(7者)に奨励金を交付することにより、事業の事業継続及び拡張を支援した。	○	○	継続	増額	○	○	継続	維持	67,702	124,542	119,365	119,365	119,365	550,339		
9	③	企業立地促進事業(操業継続支援)	○		市内に工場等を設置する事業者に対する水道料金の助成 事業者(13者)に水道料金の一部を助成することにより、立地企業の継続的な操業を支援した。	○	○	継続	維持	○	○	継続	維持	22,446	23,024	24,064	24,064	24,064	117,662		
10	③	企業誘致等推進事業	○		公共用地等の既存ストックを活用した企業誘致、未操業企業への操業支援、新たな工業団地用地の創出実現に向けた誘致産業分野等の検討 立地検討企業へ情報提供できるよう、未利用地の情報を県と共有した。平成28年に用地取得した企業に対して支援を行い、平成30年度中に1社操業を開始した。	○	○	継続	-	○	○	継続	-								
予算(計画) 事業費 合計													130,036	216,417	199,584	179,515	179,515	905,067			
決算 事業費 合計													125,639	213,354	0	0	0	338,993			
執行率													96.6%	98.6%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%			

政策	V	地域産業が躍動する活力あふれるまち	計画書
施策	2	商工業・観光産業の活性化と雇用対策の充実	134
主要施策	(35)	観光の振興	ページ

部	産業振興部	課	商工観光課
---	-------	---	-------

将来あるべき姿

豊かな自然や貴重な歴史遺産など、恵まれた地域資源を活かした周遊性のある観光の推進により、交流人口が増加し、観光産業が活性化しています。

※指標(年度目標)達成状況と事務事業の成果、協働(市長・地域・事業者等の取組)の視点を踏まえた評価 / 評価対象年度までの取組に対する評価

協働の取組(市の取組) 計画内容		取組評価	成果(「●」の場合、その他ある場合)	改善事項等(取組評価「▲」「×」の場合、その他ある場合)	総合評価
①	観光資源の育成・活用 観光振興の主要な担い手である観光協会の主体的な取組を支援するとともに、観光情報発信拠点の整備について検討を進めます。また、ゴルフ協会や観光協会と連携し、ゴルフ産業のさらなる振興を図るとともに、本市ならではの着地型観光の開発や近隣市町との連携による広域的な観光ルートの形成に取り組むことで、周遊性のある観光を推進します。	●	自転車(サイクリング)を活用した着地型観光が根付きつつある。また、北播磨広域定住自立圏の構成市町で、広域の観光マップ等を作成、バスツアーも企画・実施し観光客の周遊性を高めた。	⇒	一次(内部) B H30 R1 R2 B
②	観光資源の創出と再生 三草山などの登山ルートの再整備や、闘竜灘、東条湖などの観光資源の再生を行うとともに、歴史探索をはじめ、多角的な視点から地域資源の新たな価値を見出すことにより、観光資源の創出を目指します。また、やしろ鴨川の郷などの指定管理施設の計画的な改修や適切な維持管理により、利用者の利便性向上を図ります。	●	観光地の整備や観光関連の指定管理施設の計画的な修繕により、来訪者の利便性が向上した。 加東アート館の実施設計を行った。	⇒	二次(外部) B H30 R1 R2
③	多様化する観光ニーズへの対応 ホームページや観光看板、パンフレットなどの外国語表記を含めた内容の充実を図るとともに、公共施設などにおいて無料公衆無線LANサービスを提供します。また、観光事業者と連携し、滞在型の外国人観光客の誘致に取り組みます。	●	市内ゴルフ場を利用する外国人旅行者の交通費を補助することで、誘客を促進できた。また、観光地看板を整備し、多言語パンフレットを作成・配布することにより、観光客の利便性向上と誘客を促せた。	⇒	[A]順調(十分な成果あり) [B]若干の課題等があるが、概ね順調(一部成果あり) [C]取組(時期・内容)に改善が必要 【二次(外部)評価意見等】 [R1]取組評価が全て「●」で総合評価が「B」である場合、改善事項等の欄に今後の取組を記載した方がわかりやすい。
④				⇒	
⑤				⇒	

【取組評価】●:順調に取り組めた ▲:取組に一部遅れあり ×:取組に大幅な遅れあり -:評価対象年度後に取り組む予定(※まちづくり指標の年度目標と整合を図ること。)

まちづくり指標				年度目標達成状況																	
協働の取組番号	指標名	単位	方向性	累計・単年度	実績値 2011 (H23)	基準値 2016 (H28)	上段:目標値				下段:実績値				上段:達成率		下段:年度目標達成状況				
							2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
①②③	観光振興の取組に対する満足度	%	↑	単年度	9.7	6.4	-	-	8.6	-	10.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
①②③	案内したい観光地がある市民の割合	%	↑	単年度	49.0	37.7	-	-	45.1	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
①②③	観光客入込数	千人	↑	単年度	3,168	3,357	3,397	3,437	3,477	3,517	3,557	103.9%	99.3%	★★★	★★						
①②③	市ホームページ(観光)閲覧件数	件	↑	単年度	-	12,600	17,000	19,000	21,000	23,000	25,000	85.0%	107.4%	★★	★★★						
							14,450	20,408				★★	★★★								

【年度目標達成状況】★★★:達成、★★:達成率80%以上、★:達成率60%以上、☆:達成率60%未満、-:測定不能

行財政改革関連事業の取組状況					財政効果額(千円)
通番	事務事業名	成果	取組による成果(効果)・成果なしの理由		
1	イベントあり方検討事業	○	秋のフェスティバルの会場移転を決定した。		
11	交流保養館管理運営事業	△	大幅な経営改善に至らなかった。		
14	鴨川の郷管理運営事業	△	大幅な経営改善に至らなかった。		

※「取組による成果(効果)・成果なしの理由」欄は、「成果」欄が「○」「△」の場合は財政負担の軽減・平準化、市民サービス・行政効率の向上などの観点における取組成果(効果)を、「×」の場合は成果なしの理由を記載する。
※記載内容については、裏面(行革関連事業)の内容と十分に整合をとること。

事務事業の見直し(スクラップ・アンド・ビルド/リセット)状況			
通番	事務事業名	成果	廃止、休止、縮小、統合等の内容

※記載内容については、裏面(事務事業)の内容と十分に整合をとること。

■主要施策を構成する主な事務事業(新規・廃止等事業を含む。)

通番	協働の取組番号	事務事業名	重点 行年 限	実施 年 限	上段:事務事業内容[2018(H30)~2022(R4)] 下段:2018(H30)~2019(R1)年度の取組内容・成果	R1事中評価				R1事後評価				上段:予算(計画)、中上段:決算[千円]、中下段:執行率、下段:実施有無					改善事項等 ※事中・事後評価で方向性「継続」、予算「維持」「一」以外とした場合、その他ある場合	
						進 捗	成 果	2020(R2)反映		進 捗	成 果	主に2021(R3)反映		2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)		合計
								方向性	予算			方向性	予算							
1	①	イベントあり方検討事業	○		市(実行委員会)主催のイベントの見直し 加東市秋のフェスティバルについては、令和2年度からの会場移転を決定した。その他のまつりについては、内容を精査し、話題となるイベントとすることができた。	○	○	継続	-	○	○	継続	-	-	-	-	-	0 0		
2	①	観光情報発信拠点整備事業			観光情報発信拠点の整備検討 市への新たな誘客の方向性を探るため、県内の芸術大学を訪問するなど、観光情報発信拠点のあり方とコンセプトの検討を進めた。	×	○	継続	-	○	○	継続	-	-	-	-	-	0 0		
3	① ②	加東アート館整備事業			旧滝野庁舎1階部分の改修による加東アート館(仮称)の整備 加東アート館の実施設計を行った。	○	○	継続	増額	○	○	完了予定	廃止	-	3,997	77,875	-	81,872 3,997 4.9%		
4	① ②	加東アート館運営事業	○		旧滝野庁舎1階部分の改修による加東アート館(仮称)の開設・運営 -													2,000 2,000 4,000 0 0.0%		
5	① ② ③	観光振興事務事業(観光協会補助)			観光協会に対する運営補助 加東市観光協会に補助金を交付し、観光施設の維持管理や各種イベントを開催することで、加東市の観光振興を促進した。	○	○	継続	維持	○	○	継続	維持	29,078	26,207	26,420	26,420	26,420	134,545 55,285 41.1%	
6	① ② ③	観光振興事務事業(ゴルフ協会補助)			ゴルフ協会に対するゴルフ振興等に係る補助 ゴルフ協会に補助金を交付し、市民ゴルフ大会やジュニアゴルフ大会等を開催することで、ゴルフのまち加東をPRし、ジュニアゴルファーの育成をはじめ、ゴルフを軸とした地域経済の活性化を促進した。	○	○	継続	維持	○	○	継続	維持	8,170	8,350	8,350	8,350	8,350	41,570 16,520 39.7%	
7	②	広域観光ルート形成事業	○		着地型観光の開発及び近隣市町との連携による広域観光ルートの形成 北播磨広域定住自立圏の構成自治体と協力し、るるぶ兵庫への周遊ルートの掲載や伊丹空港のひょうごPRブースへの出展、サイクルフェス(大阪)におけるサイクルツーリズムの促進のための一斉のPRを行った。また、圏域内を巡るバスツアーを企画・開催した。	×	○	継続	維持	○	○	継続	維持	242	250	250	250	250	1,242 492 39.6%	
8	②	観光事業(加東市夏まつり)			加東市夏まつり実行委員会への補助 花火大会と夏のおどりを主催する夏まつり実行委員会に補助金を交付し、まつりの開催を通じて加東市のPRと地域コミュニティの醸成を促した。	○	○	継続	維持	○	○	継続	維持	19,040	20,000	20,000	20,000	20,000	99,040 39,040 39.4%	
9	②	観光事業(加東市花まつり)			加東市花まつり花まつり実行委員会への補助 花まつり花まつり実行委員会へ補助金を交付し、まつりを開催することで地域文化の継承・発展及び観光資源のPRを促した。	○	○	継続	維持	○	○	継続	維持	5,300	5,600	5,600	5,600	5,600	27,700 10,900 39.4%	
10	②	観光事業(観光資源再整備・創出)	○		三草山等登山道、東条湖、闘竜灘等の観光資源の再整備、地域資源の新たな観光的価値の探索等による観光資源の創出、フットバス用のガイドマップの作成 三草山の登山道の整備及び頂上のベンチ修繕を行い、登山客の利便性を向上させることができた。 新たな魅力のPRのためワカサギ釣り体験イベントを開催した。	○	○	継続	維持	○	○	継続	維持	1,000	1,189	1,171	1,033	1,033	5,426 1,723 31.8%	
11	②	交流保養館管理運営事業	○		指定管理者による管理運営(収支改善)、土砂流出防止工事等 指定管理者により施設の管理運営を行うとともに、老朽度調査結果による修繕及び修繕計画の策定を行った。	×	○	継続	維持	○	○	継続	維持	9,002	32,040	23,277	30,900	161,000	256,219 40,011 15.6%	
12	②	アクア東条管理運営事業			指定管理者による管理運営、老朽度調査及びそれに基づく屋根補修工事等 指定管理者により施設の管理運営を行うとともに、老朽度調査を行い、施設の計画的な修繕を検討した。	○	○	継続	増額	○	○	継続	増額	5,626	5,244	9,765	12,395	11,695	44,725 10,866 24.3%	

令和2年度・令和3年度の
予算は、工事費用の増額

令和元年度 第2次総合計画 前期基本計画 施策評価シート

13	②	産業展示館管理運営事業	○	指定管理者による管理運営、照明設備改修工事	○	○	継続	維持	○	○	継続	維持	720	727	2,277	720	720	5,614	
				ドライバーの休憩地として、また、加東市の観光情報の発信地として、指定管理者により施設運営を行った。									720	727					1,447
													100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.8%	
													○	○	○	○	○		
14	②	鴨川の郷管理運営事業	○	指定管理者による管理運営(収支改善)、老朽度調査に基づくエレベーター改修工事等	×	○	継続	維持	○	○	継続	維持	23,892	28,255	22,726	23,100	34,100	132,073	
				指定管理者により施設の管理運営を行うとともに、調査結果による修繕及び修繕計画の策定を行った。									23,696	27,222					50,918
													99.2%	96.3%	0.0%	0.0%	0.0%	38.6%	
													○	○	○	○	○		
15	②	道の駅管理運営事業	○	指定管理者による管理運営、県施設部分の管理委託、老朽度調査、修繕工事等	○	○	継続	維持	○	○	継続	維持	4,914	4,960	4,963	4,963	4,963	24,763	
				指定管理者により施設の管理運営を行った。地元野菜の取扱い(販売)量も増え、収益増となった。									4,914	4,958					9,872
													100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	39.9%	
													○	○	○	○	○		
16	③	観光振興事務事業(外国人旅行者交通費補助)	○	市内のゴルフ場を利用する外国人旅行者に対する交通費補助	○	○	縮小	維持	○	○	継続	維持	550	709	1,500			2,759	
				外国人旅行者延べ452人に対し、交通費を補助することで、誘客を推進できた。									550	709					1,259
													100.0%	100.0%	0.0%	-	-	45.6%	
													○	○	○				
17	③	観光事業(多言語パンフ作成等)	○	外国人観光客に配慮した観光地看板の整備、多言語観光パンフレットの作成、増刷	×	○	継続	維持	○	○	完了	-		1,650	330			1,980	
				外国人観光客に対応した観光地看板を整備したほか、多言語対応パンフレットを作成し、旅行会社等へ配布した。										1,496				1,496	
													-	90.7%	0.0%	-	-	75.6%	
													○	○					
予算(計画) 事業費 合計													107,534	135,181	127,079	133,731	274,131	777,656	
決算 事業費 合計													107,134	132,695	0	0	0	239,829	
執行率													99.6%	98.2%	0.0%	0.0%	0.0%	30.8%	

政策	V	地域産業が躍動する活力あふれるまち	計画書
施策	2	商工業・観光産業の活性化と雇用対策の充実	136
主要施策	(36)	労働・雇用の促進	ページ

部	産業振興部	課	商工観光課
---	-------	---	-------

将来あるべき姿

地域産業の活性化とあわせて、市民の就労環境を充実させることで、生活と調和していきいきと働いています。

※指標(年度目標)達成状況と事務事業の成果、協働(市民・地域・事業者等の取組)の視点を踏まえた評価 / 評価対象年度までの取組に対する評価

協働の取組(市の取組) 計画内容		取組評価	成果(「●」の場合、その他ある場合)	改善事項等(取組評価「▲」「×」の場合、その他ある場合)	総合評価										
①	就労環境の充実 就労相談窓口において、ハローワークと連携し、直近の雇用情報を的確に提供するとともに、女性向けの就労支援セミナーの開催や社・滝野児童館における相談窓口の新設など、子育て世代の女性に対する就労支援を強化し、女性の労働参加を促進します。また、シルバー人材センターの運営を支援し、高齢者の労働参加を促します。	●	就労支援室での就労相談をはじめ、女性向けの働き方セミナーの開催などにより、雇用情報を提供し、主に子育て中の女性に対する就労支援を実施した。	⇒ 年度目標達成状況における、就労に関する相談件数並びに女性向け就労支援セミナー受講者数が、目標達成できていないため、就労支援室の業務内容啓発や、女性向け就労支援セミナー開催時における、広報、啓発を強くする。	<table border="1"> <tr> <td>一次(内部)</td> <td>B</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>二次(外部)</td> <td>B</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> </table> <p>【A】順調(十分な成果あり) 【B】若干の課題等があるが、概ね順調(一部成果あり) 【C】取組(時期・内容)に改善が必要</p> <p>【二次(外部)評価意見等】 【R1】まちづくり指標からは、相談者やセミナー参加者の内、実際に就職した人数がわからないから、わかるようにしてもらいたい。</p>	一次(内部)	B	H30	R1	R2	二次(外部)	B	H30	R1	R2
一次(内部)	B	H30	R1	R2											
二次(外部)	B	H30	R1	R2											
②	地元就労の促進 ハローワークと連携しながら、就職面接・相談会の開催などにより、市内事業所等の魅力や求人などの情報を発信し、若い世代の就労や市内事業所などの人材確保を支援します。また、市内事業所などとの連携により、インターンシップや工場施設見学会などの機会を確保することで、UJIターンによる就職を促進します。	●	就職面接・相談会や工場施設見学会を開催し、市内事業者の魅力発信や雇用の機会を確保した。	⇒											
③				⇒											
④				⇒											
⑤				⇒											

【取組評価】●:順調に取り組めた ▲:取組に一部遅れあり ×:取組に大幅な遅れあり -:評価対象年度後に取り組み予定(※まちづくり指標の年度目標と整合を図ること。)

まちづくり指標							年度目標達成状況													
協働の取組番号	指標名	単位	方向性	累計・単年度	実績値 2011 (H23)	基準値 2016 (H28)	上段:目標値					下段:実績値			上段:達成率		下段:年度目標達成状況			
							2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)
①	就労に関する相談件数	件	↑	単年度	90	557	660	672	686	703	772	86.8%	93.0%							
							573	625				★★	★★							
①	女性向け就労支援セミナー受講者数	人	↑	累計	-	-	20	40	100	160	220	135.0%	97.5%							
							27	39				★★★	★★							
①②	雇用の確保の取組に対する満足度	%	↑	単年度	55.1	64.6 (H29)	-	-	67.8	-	70.0	-	-							
							-	-				-	-							

【年度目標達成状況】★★★:達成、★★:達成率80%以上、★:達成率60%以上、☆:達成率60%未満、-:測定不能

行財政改革関連事業の取組状況				
通番	事務事業名	成果	取組による成果(効果)・成果なしの理由	財政効果額(千円)

※「取組による成果(効果)・成果なしの理由」欄は、「成果」欄が「○」「△」の場合は財政負担の軽減・平準化、市民サービス・行政効率の向上などの観点における取組成果(効果)を、「×」の場合は成果なしの理由を記載する。
※記載内容については、裏面(行革関連事業)の内容と十分に整合をとること。

事務事業の見直し(スクラップ・アンド・ビルド/リセット)状況			
通番	事務事業名	成果	廃止、休止、縮小、統合等の内容

※記載内容については、裏面(事務事業)の内容と十分に整合をとること。

